

日本アジアグループ、埼玉県杉戸町において 「(仮称)埼玉・杉戸ソーラーウェイ」開発へ

グリーン・コミュニティの実現を目指し、国内外でメガソーラー発電所の開発に注力する日本アジアグループ株式会社(コード:3751、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:呉文繡、以下「日本アジアグループ」)傘下のJAG国際エナジー株式会社(代表取締役社長:木村泰宏)は、このたび埼玉県杉戸町(古谷松雄町長)と「(仮称)埼玉・杉戸ソーラーウェイ」の開発に向け、基本合意を締結いたしました。

今回、検討を進める太陽光発電所「(仮称)埼玉・杉戸ソーラーウェイ」は、杉戸町所有の未利用地(木津内高規格堤防(スーパー堤防))を有効活用した、出力約0.5MW(500kW)、一般家庭の約150世帯^{※1}に相当する規模の太陽光発電所になります。「エネルギーを大切にし、自然エネルギーを積極的に活用する町」を目標に掲げている杉戸町において初となる太陽光発電所であり、本施設を中心とした環境学習、地域振興への取り組みなども期待されます。



(仮称)埼玉・杉戸ソーラーウェイ イメージ

日本アジアグループは再生可能エネルギーの固定価格買取制度のもとメガソーラー発電所の開発に向け、これまでの実績により培った技術とノウハウを活用し、地域特性にあわせた太陽光発電所の開発を行うとともに、地域住民の方々とは本施設を活用した地域づくり、まちづくりへの取り組みを進めています。

■ 「(仮称)埼玉・杉戸ソーラーウェイ」開発計画概要

発電所名称	(仮称)埼玉・杉戸ソーラーウェイ
立地場所	北葛飾郡杉戸町木津内
現況	高規格堤防(スーパー堤防)
立地面積	約7,796㎡
出力	約0.5MW
着工時期	2013年上半期
竣工時期	2013年下半期
パネルメーカー	国産パネルを予定

※ 1 標準家庭の消費電力を年間3,480kWh(290kWh/月)として計算

【日本アジアグループについて】

日本アジアグループは、日本と世界の確かな未来のために、人と地球に優しいまちづくり「グリーン・コミュニティ」の実現を目指しています。

生活や経済活動を支える新たな社会インフラとしての空間情報の整備・構築、利活用を提供する「空間情報コンサルティング事業」、低炭素で防災機能を強化したエコタウン開発を推進し、環境価値の創出と資産価値の向上を実現する「グリーンプロパティ事業」、自然エネルギーの普及を後押しする太陽光発電所開発を企画から資金調達・建設・管理運営まで一貫して行う「グリーンエネルギー事業」の3つの技術サービスと、産業と社会の発展に資本を供給する「ファイナンシャルサービス事業」が緊密に連携・サポートすることで、国内からアジア、海外まで幅広く事業を展開しています。

【名称】 日本アジアグループ株式会社(持株会社)

【上場市場】 東京証券取引所マザーズ(コード:3751)

【本社所在地】 〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地

【資本金】 38億円

【従業員数】 2,754人(連結)(2012年4月末現在)

【子会社数】 69社(2012年4月末現在)

【お問い合わせ先】

日本アジアグループ株式会社

経営企画本部コーポレート・コミュニケーション部 : 鈴木

TEL:03-3288-5704 e-mail:press@japanasiagroup.jp URL:http://www.japanasiagroup.jp/
